



保 育 教 育

9
Sep.

伝えよう いのち 生命の尊さ ほとけの心

子ども・子育て支援新制度に求められる

「保育の質」の高さとは？

子ども・子育て支援新制度がスタートして5カ月が過ぎた。認定への移行については返上の動きも取り沙汰されていただけに、移行園数が予想を超えたことに半ば驚きの感を抱いたものである。

新制度では消費税財源を充てる対象として研修の充実、職員配置規準の見直しなど、「質の向上」が挙げられた。しかも、地域型保育事業が新たに公的資金の対象となったこともあって、「安心できる保育」の輪もひろがりつつある。他方、就学前における質の高い教育には世界が関心を持っている。こうした時流や機運もあって、幼稚園教育要領の改訂作業が進んでいることもご存知の通りである。

本稿では過日、全国認定こども園連絡協議会（木村義恭会長）が関東大学で開催した「認定こども園に関するあり方などの研修（講演行政説明）」から、保育の質の向上に関わる要旨をご参考までにご紹介したい。

無藤隆先生（白梅学園大学教授）の基調講演より（抜粋）

● 新制度に対して、1歳児、4・5歳児に対する保育者一人当たりの子どもの数を減らすなど、保育の質向上のためには消費税増税分財源以外も含めた1兆円を超える必要がある。

● 認定こども園の動向については、私立幼稚園の動きが鍵となる。少子化が進む地方では認定

こども園化の方向にあるが、私学助成の手厚い東京都などでは、メリットの見定めが難しい状況にある。

● 認定こども園の意義については、待機児童の解消、過疎地における子どもの集団確保、地域子育ての充実を望みたい。特に、子育て支援については、地域の

すべての子どものために、乳幼児と保護者のニーズを満たすことが大切。更に待機児童への対応が進めば質の高い保育をいかにして提供するかが喫緊の課題となるだろう。

● 最低賃金の引き上げに並行して、保育者個々の質を上げる必要がある。その際のポイントとしては「教育と保育一体的な提供」と言えよう。つまり、「幼保連携型認定こども園教育・保育」と認定されたことでこれまでの幼保連携型とも異なるという点を認識する必要がある。

● 児童福祉法では保育所の教育は学校教育を含まないと注記されており、保育所は学校教育に位置付けられないため、実態に合わせるためにも「児童福祉

法」そのものの改正が必要と考える。保育所に近い認定こども園は学校教育と位置付けられているだけに、設置主体に対する研修義務が課せられ、教育費という考え方が出てくる。保育についても、広義の「保育」（児童福祉法）と「保育を必要とする子どもへの保育」（子ども・子育て支援法）の2種類があるのであるから。広義の保育は家庭での子育ても含み（乳幼児の世話、愛し守る愛護、心身の育成）が要点である。保育所も学校教育を担ってはいるが学校教育ではないだけに、保育士には専門職としての位置づけの差がある。認定こども園はその差を克服する場として欲しい。

三谷卓也参事官（認定こども園担当）の行政説明より（抜粋）

● 子ども・子育て支援制度の施行状況については、新制度では、これまでの制度を給付で一つにまとめられているが、私立幼稚園が一部私学助成に残れるなど、事業者が選択できるように考慮したことは特徴の一つである。

● それに加えて、地域子ども



第16回 「全国真宗保育研修大会」報告

五島 満 (銀の鈴幼稚園)

平成27年7月18日(土)～19日(日)於、ホテルオークラ福岡

2015年、7月18日(土)から19日(日)、福岡県、ホテルオークラ福岡において、(公社)大谷保育協会主催による第16回全国真宗保育研修大会が「誕生—生きるってすばらしい」のテーマのもと、約400名の参加者を得て開催された。基調講義は九州大谷短期大学学部准教授の吉元信暁氏による「誕生の意味」と題して講義が行われ、その後、講師と3名のパネラーによるパネルディスカッションとグループ討議が行

われた。夕方のレセプションでは多くの吹奏楽コンクールで金賞を受賞している精華女子高校吹奏楽部による見事な演奏が花を添えた。翌日は協会が作成したオリジナル「こどものうた」のCDで歌を担当した歌手の陽香氏を迎えコンサートが行われ、温かく透明感のある歌声に触れて、参加者は笑顔で「こどものうた」3曲を味わっていた。最後の基調講演には評論家の芹沢俊介氏を迎え、保育者が子どもに向かい合うときに「あること(being)はやること(doin)に先行する」というD. ウィニコットの言葉を手がかりに、子どもの根本的安心と安定の意味について話された。

子育て支援事業で地域の様々な課題にきめ細かい仕組みとした。消費税という安定的で社会全体を支える財源を使い、地域の子育てを支援する仕組みになっている。

●最近の動向に関しては、骨太方針でも幼児教育に言及しており、子ども子育て分野に優先的に財源配分する旨が盛り込まれている。教育再生実行会議にも「幼児教育は人格形成の基礎を

培う」とその重要性を記載している。●公定価格については一人当たりの単価として認定された個人給付で、同じ認定区分の子どもの扱いは同等であり、認定こども園の1号給付は幼稚園より低く見えるが実質的には同じである。●教育・保育要領に関連して、幼稚園教育要領の見直しの検討が本格的に始まる。それを踏まえて小学校との接続を見直す方

向である。◆「保育の質を考える」をテーマに質向上に向けた様々な取り組みが各地域で行われています。東京・墨田区では「子ども主体の協同的な学びプロジェクト」があります。同プロジェクトをコーディネートされているのは大豆田啓友先生(玉川大学教授/墨田区子ども・子育て会議会長)です。先生の狙いなど

紹介しましょう。●子ども・子育て支援新制度の理念を後盾に、自治体が実施主体として地方版子ども・子育て会議では当事者参画の重要性が謳われている。そこで区民が作る事業計画「墨田区が目指す子育て環境の在り方について話し合う。もとより、事業計画策定に必要な地域割り・ニーズ量に関する話し合いでしたが、その根底を支えたのは全員が合意した理念である。「保育の質の向上」「地域ネットワークの構築」「困っている親子への支援」「ワークライフ・バランス」の4つが挙げられた。新制度の特徴は、質の高い幼児教育・保育の提供であるため、四つの課題から先ず「保育の質の向上」を取り上げた。接続期ということで5歳児をテーマに「協同的な学び」として取り組んでいくことにした。

「第62回保育研修大会」報告

曹洞宗保育連合会

平成27年8月5日(水)
〜7日(金)
於、大本山總持寺



平成27年8月5日(水)より7日(金)までの二泊三日の日程にて、大本山總持寺を会場に、全国各地より48施設、総員90名参集のもと、曹洞宗保育連合会主催「第62回保育研修大会」が開催された。

初日は、午後受付後、大祖堂において、大本山總持寺前川陸生老師の導師により、「献香・献華」と仏教聖歌を交えた開会式が挙行され、式後、ご本山を代表し導師を務められた前川陸生老師、当連合会副会長・中村見自教化部長よりそれぞれご挨拶をいただいた。

会場を三松閣四階大講堂に移しての第1講は、育英短期大学



教授であります佐藤達全先生により「保育の原点としての仏教保育について―保育に生かしたいお釈迦さまと道元さまの心―」と題し、仏教保育について、豊富な資料を基に講義が行われた。先生は、『曹洞宗保育ハンドブック』の改訂にご協力いただいております、参加者にとっても実りある講義であった。

その後、施設代表者参加の総会が開催され、平成26年度年間事業報告、及び決算、平成27年度事業計画及び予算等について、理事より報告がなされた。

その後、薬石(夕飯)となりましたが、参加者は、曹洞宗の作法に従い、私たちの生命を支えている食材、更には目の前にある食事に関わった多くの人達に感謝の気持ちを含めて、五観の偈をお唱えし、食事をいただいた。薬石後は、ご本山より坐禅指導の後、坐禅を一炷し、心

静かな時を過ごした。その後ご本山紹介映画を視聴し、初日は終了した。

翌二日目は早晨4時30分起床。朝課、諸堂拝観、坐禅の後小食。小食後、大本山總持寺副監院・山口正章

老師より法話をいただいた。二日目の第1講は、浄土宗西光寺住職であり、パネルシアターの創案者であります古宇田亮順先生を講師に迎え「幼児教育にいかすパネルシアター」と題し、実際にパネルシアターを演演しながら講演をされ、参加者も興味津津の様子で聴講していた。

夕刻の第3講は、当会理事であり、まこと幼稚園園長でもあります佐々昌樹先生より「曹洞宗保育の心」と題して、巧みな話術により和やかな雰囲気の中、講演をいただいた。参加者にとっては、今後に生かす貴重な講義であった。

薬石後は、実行委員主導にて、恒例のゲーム等を交えた懇親会が行われた。大講堂内には参加者の歓声が響き渡り、和気合々の内に終了となった。

最終日、早朝よりのご本山行事に参加。小食後、閉会式に於いては堪山理事長より修了証が授与され、今年度の保育研修大会日程は盛会裏に終了した。

参加者にとっては、保育園、幼稚園及びごとも園と多様な施設が一堂に会し、それぞれの参加者たちが、交流し、意見交換がなされた有意義な研修会となった。

「第64回天台保育全国大会 比叡山延暦寺大会」報告

平成27年8月29日・30日
於、総本山比叡山延暦寺

小林 昭寛 (言問幼稚園)



今年の天台保育全国大会は、8月29日(日)〜30日(月)天台総本山比叡山延暦寺を会場として開催されました。

総本堂の根本中堂が今年より10年間にわたり大改修されるにあたり、天台保育連盟設立65周年の記念大会を1年前倒しして実施されました。

開会式と併せて厳修された天台宗祖師先徳鑽仰大法会慶讃天台保育連盟法要は、半田孝淳天台御座主猊下ご臨席のもと、比叡山幼稚園の代表園児による献香・献灯・献華や、保護者のコーラス部による「あすという日」が献歌など、保育連盟らしい特色があり、聖なる場所の荘厳な雰囲気に参加者一同、改めて身の引き締まる思いがしました。

続いて、天台宗における最難行と言われる12年籠山を遂業された、延暦寺一山円龍院住職・居士林院長の宮本祖豊先生による「覚悟の力」という講演を拝聴しました。先生はご自身の行で体験したことを踏まえ、丁寧に言葉を選びながら、一つの事を持続する力の大切さをお話して下さいました。

夕食懇親会では、清興として滋賀県内の音楽家グループ「湖笛の会」による演奏を聴きながら、和やかな雰囲気の中に各地域の先生方との懇親を深めることができました。

続いて、敬愛幼稚園の永宗智子園長先生をコーディネーターに「園内研修のあり方について」と題した研修が行われ、ラウンドムに分けられたグループごとに、付箋を利用して普段の保育の中で思うことや悩みを話し合いました。「田の字法」という手法を用いて、日常の保育の中で起こったエピソードなど具体的な事例で話し合うことなどから、私たちが同僚と学びあい、専門家として育ちあうために今後できることを学ぶことができ、更なる保育の質の向上に繋がるヒントを各自が得ることができたと思います。

翌日は根本中堂のお朝事随喜をし、幽玄な朝霧に包まれたお山の空気を胸いっぱい吸って眼気も瞬時に吹き飛びました。そして盛りだくさんの研修で一泊二日の時間はあっという間に過ぎ、宗祖伝教大師最澄さまの御誕生の地である坂本・生源寺に下って閉講式を迎えました。

そこで、普段礼拝している伝教大師幼形像の大本のお姿を拝観することができ、保育の中で行われていることの根本に触れることができたこと感激も一入となりました。研修期間中、比叡山延暦寺の皆さま、比叡山幼稚園の皆さまには大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

第60回「仏教保育関西地区研修会」報告

平成27年6月27日(土) / 北御堂

大阪支部長 行友 伸二 (淡路幼稚園・淡路保育園)

大阪支部が主催させていただいた標記研修会は、御堂筋線本町駅に直結する北御堂(浄土真宗本願寺派津村別院)において開催され、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山の各府県から76名の先生方のご参加を得て爽りのある研修会となった。

大阪支部が主催させていただいた標記研修会は、御堂筋線本町駅に直結する北御堂(浄土真宗本願寺派津村別院)において開催され、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山の各府県から76名の先生方のご参加を得て爽りのある研修会となった。



日本では最初にできた現代影絵の専門劇団としての劇団かかし座は、「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで、人々の心を無限の想像へ

日本では最初にできた現代影絵の専門劇団としての劇団かかし座は、「たくさんの人々の心に夢を育てたい」という思いで、人々の心を無限の想像へ

は影絵劇の鑑賞のほか、バックヤードツアーとして舞台の裏側を見せていただいた。また、道具を使わずに手指や腕だけで表現する手影絵では、鳥・カニ・キツネ・ふくろう・かたつむり・恐竜・うさぎ・リス・白鳥などの演じ方、それらを各自が実際に舞台スクリーンで演じるグループごとの発表投影など、参加者が楽しみながらできる実技も盛り込まれたものであった。

各園で子どもたちと一緒にできる影絵あそびとして、OHPやプロジェクターを使用するものや、白いシートにLEDやはだか電球、季節によっては太陽の光でも簡単に光と影の手遊

ご存知ですか？ 嘔吐物・汚物は、悪臭だけでなく、ウイルス・細菌を含む場合があります…

迅速かつ安全に行う必要があります。

感染症予防対策では、嘔吐物・汚物の適切な処理が重要

お困りではありませんか？ 誰もが嫌がる、嘔吐物・汚物

安全・清潔に 嘔吐物・汚物かんたんスピード処理剤

簡単・快適に **オブツポイポイ** **解決!**

汚れた → 使う → 固める

高品質二酸化塩素の効果で 消臭・除菌・凝固させます!

お困りの方へ

株式会社 興生

〒595-8414 大阪府東淀川区東中島5-12-18 Tel: 03-5855-8781
E-mail: asagiri@asagiri.co.jp (担当: 興生 大野)



暑中見舞

(敬称略)

園 日保保副理事長 長 〒960・1101 福島市大森字南中道47・1 電話 024・545・0814	園 日保保理事 長 〒380・0847 長野市若松町1028 電話 026・234・5858	園 長 〒188・0083 東京都世田谷区奥沢1・18・9 電話 03・3720・1273	園 理事 長 〒198・0064 東京都青梅市榎木町2・312・1 電話 0428・760・0809	園 長 〒379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原985 電話 0278・722・1088
園 日保保副理事長 長 〒274・0814 千葉県船橋市新高根3・8・1 電話 047・465・2336	園 日保保副理事長 長 〒191・0034 東京都日野市落川9・4・3 電話 042・591・1687	園 長 〒174・8631 東京都板橋区前野町6・36・4 電話 03・3966・7637	園 日保保理事 長 〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話 0823・25・5761	園 日保保副理事長 長 〒179・0074 東京都練馬区春日町3・14・24 電話 03・3998・2162

園 日保保副理事長 長 〒604・8493 京都市中京区西ノ京南町22 電話 075・821・0055	園 日保保理事 長 〒567・0832 大阪府茨木市白川1・11・1 電話 072・263・1212	園 日保保副理事長 長 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話 075・381・2591	園 日保保副理事長 長 〒101・0021 東京都千代田区外神田3・4・10 電話 03・3251・8683	園 日保保副理事長 長 〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・3922・3368	園 日保保副理事長 長 〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 電話 03・3618・0511	園 日保保副理事長 長 〒554・0051 大阪市此花区西島3・26・11 電話 06・6461・7848	園 日保保副理事長 長 〒080・2471 北海道帯広市西21条南3丁目22・2 電話 0155・357・1222
園 日保保副理事長 長 〒165・0022 東京都中野区江古田3・9・9 電話 03・3385・0014	園 日保保副理事長 長 〒983・0841 仙台市宮城野区原町2・1・66 電話 022・293・4930	園 日保保副理事長 長 〒533・0023 大阪市東淀川区東淡路4・12・25 電話 06・6321・0271	園 日保保副理事長 長 〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話 042・364・7651	園 日保保副理事長 長 〒232・0002 横浜市南区三春台19 電話 045・231・0290	園 日保保副理事長 長 〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 044・977・5671	園 日保保副理事長 長 〒165・0025 東京都中野区沼袋3・21・7 電話 03・3385・0017	園 日保保副理事長 長 〒157・0077 東京都世田谷区鎌田3・23・19 電話 03・3709・0400

園 日保保副理事長 長 〒604・8493 京都市中京区西ノ京南町22 電話 075・821・0055	園 日保保副理事長 長 〒567・0832 大阪府茨木市白川1・11・1 電話 072・263・1212	園 日保保副理事長 長 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話 075・381・2591	園 日保保副理事長 長 〒101・0021 東京都千代田区外神田3・4・10 電話 03・3251・8683	園 日保保副理事長 長 〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・3922・3368	園 日保保副理事長 長 〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 電話 03・3618・0511	園 日保保副理事長 長 〒554・0051 大阪市此花区西島3・26・11 電話 06・6461・7848	園 日保保副理事長 長 〒080・2471 北海道帯広市西21条南3丁目22・2 電話 0155・357・1222
園 日保保副理事長 長 〒165・0022 東京都中野区江古田3・9・9 電話 03・3385・0014	園 日保保副理事長 長 〒983・0841 仙台市宮城野区原町2・1・66 電話 022・293・4930	園 日保保副理事長 長 〒533・0023 大阪市東淀川区東淡路4・12・25 電話 06・6321・0271	園 日保保副理事長 長 〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話 042・364・7651	園 日保保副理事長 長 〒232・0002 横浜市南区三春台19 電話 045・231・0290	園 日保保副理事長 長 〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 044・977・5671	園 日保保副理事長 長 〒165・0025 東京都中野区沼袋3・21・7 電話 03・3385・0017	園 日保保副理事長 長 〒157・0077 東京都世田谷区鎌田3・23・19 電話 03・3709・0400

園 日保保副理事長 長 〒640・8053 和歌山市鷺ノ森1 電話 073・422・6952	園 日保保副理事長 長 〒158・0093 東京都世田谷区上野毛2・15・15 電話 03・3704・1881	園 日保保副理事長 長 〒603・8231 京都市北区紫野大徳寺町74 電話 075・491・8818	園 日保保副理事長 長 〒314・0146 茨城県神栖市平泉2325・1 電話 0299・922・2704	園 日保保副理事長 長 〒260・0812 千葉市中央区大蔵寺457・5 電話 043・263・7965	園 日保保副理事長 長 〒099・2102 北海道北見市端野町二区340 電話 0157・56・3238	園 日保保副理事長 長 〒206・0021 東京都多摩市連光寺2・24・6 電話 042・374・6040	園 日保保副理事長 長 〒156・0051 東京都世田谷区宮坂2・10・1 電話 03・3427・2251
園 日保保副理事長 長 〒165・0022 東京都中野区江古田3・9・9 電話 03・3385・0014	園 日保保副理事長 長 〒983・0841 仙台市宮城野区原町2・1・66 電話 022・293・4930	園 日保保副理事長 長 〒533・0023 大阪市東淀川区東淡路4・12・25 電話 06・6321・0271	園 日保保副理事長 長 〒183・0021 東京都府中市片町2・4・1 電話 042・364・7651	園 日保保副理事長 長 〒232・0002 横浜市南区三春台19 電話 045・231・0290	園 日保保副理事長 長 〒216・0026 川崎市宮前区初山1・2・1 電話 044・977・5671	園 日保保副理事長 長 〒165・0025 東京都中野区沼袋3・21・7 電話 03・3385・0017	園 日保保副理事長 長 〒157・0077 東京都世田谷区鎌田3・23・19 電話 03・3709・0400

園 日保保副理事長 長 〒960・1101 福島市大森字南中道47・1 電話 024・545・0814	園 日保保理事 長 〒380・0847 長野市若松町1028 電話 026・234・5858	園 長 〒188・0083 東京都世田谷区奥沢1・18・9 電話 03・3720・1273	園 理事 長 〒198・0064 東京都青梅市榎木町2・312・1 電話 0428・760・0809	園 長 〒379・1617 群馬県利根郡みなかみ町湯原985 電話 0278・722・1088	園 日保保副理事長 長 〒274・0814 千葉県船橋市新高根3・8・1 電話 047・465・2336	園 日保保副理事長 長 〒191・0034 東京都日野市落川9・4・3 電話 042・591・1687	園 日保保副理事長 長 〒174・8631 東京都板橋区前野町6・36・4 電話 03・3966・7637	園 日保保副理事長 長 〒737・0022 広島県呉市清水2・1・26 電話 0823・25・5761	園 日保保副理事長 長 〒179・0074 東京都練馬区春日町3・14・24 電話 03・3998・2162	園 日保保副理事長 長 〒093・0006 北海道網走市南6条東2丁目 電話 0152・44・4512
園 日保保副理事長 長 〒604・8493 京都市中京区西ノ京南町22 電話 075・821・0055	園 日保保副理事長 長 〒567・0832 大阪府茨木市白川1・11・1 電話 072・263・1212	園 日保保副理事長 長 〒615・8296 京都市西京区松室山添町6 電話 075・381・2591	園 日保保副理事長 長 〒101・0021 東京都千代田区外神田3・4・10 電話 03・3251・8683	園 日保保副理事長 長 〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・3922・3368	園 日保保副理事長 長 〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 電話 03・3618・0511	園 日保保副理事長 長 〒554・0051 大阪市此花区西島3・26・11 電話 06・6461・7848	園 日保保副理事長 長 〒080・2471 北海道帯広市西21条南3丁目22・2 電話 0155・357・1222	園 日保保副理事長 長 〒101・0021 東京都千代田区外神田3・4・10 電話 03・3251・8683	園 日保保副理事長 長 〒178・0064 東京都練馬区南大泉5・6・47 電話 03・3922・3368	園 日保保副理事長 長 〒132・0035 東京都江戸川区平井6・53・7 電話 03・3618・0511



園長 〒146・0084 東京都大田区南久が原2・30・5 電話 03・3756・0505 樋口威道	園長 〒340・0032 埼玉県草加市遊馬町430 電話 048・925・1741 丹羽 義昭	園長 〒105・0011 東京都港区芝公園4・7・4 電話 03・3431・0592 友田 達祐 蓮池 光洋	園長 〒380・0921 長野市栗田465 電話 026・226・7685 新出 光祐	園長 〒110・0001 東京都台東区谷中5・2・4 電話 03・3822・2431 高橋 海有	園長 〒193・0944 東京都八王子市館町1629 電話 042・661・3046 野上 浩達	園長 〒818・0192 福岡県太宰府市石坂2・12・11 電話 092・925・3511 大村 英昭	園長 〒607・8086 京都市山科区竹鼻四丁野町52 電話 075・581・0879 白籟 文雄
---	--	---	--	---	---	--	--

園長 〒230・0063 横浜市鶴見区鶴見2・1・3 電話 045・573・8819 山崎 和子	園長 〒616・8044 京都市右京区花園扇野町49 電話 075・461・9428 川井 戒本	園長 〒603・8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 電話 075・491・2141 田中 典彦	園長 〒271・8555 松戸市岩瀬550 電話 047・365・1111 川並 弘純	園長 〒131・0033 東京都墨田区向島5・4・4 電話 03・3622・7771 小林昭彦 小林昭寛
---	---	--	--	---

園長 〒560・0035 大阪府豊中市箕輪2・5・22 電話 06・6841・1000 平 興隆	園長 〒616・8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町36・1 電話 075・872・5327 藤堂 俊英	園長 〒983・0005 仙台市宮城野区福室5・11・30 電話 022・258・0026 三浦 宗格	園長 〒461・0003 名古屋市中区筒井1・7・52 電話 052・935・2172 村上 真瑞
---	---	--	--

恒例「インド訪問ツアー」中止のお知らせ

(公社) 日本仏教保育協会恒例事業の一つ「平成27年度インド訪問旅行(菩提樹学園・印度山日本寺・光明施療院・仏跡参拝ツアー等)」は、中止と決定いたしました。

昨年インド人民党(BJP)のナレンドラ・モディ氏が15代インド首相に就任されたことは、連立政権が常態化していただけない、世界は驚きを持って注目されました。その後、国民会議派としては重要課題を巡る意思決定が下しにくい状況にあり、水面下では不穏な空気も...との風評も仄聞します。

そのような情勢も併せて諸般の事情を勘案し、中止いたしました。ご理解賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

名簿の記載事項に変更のある方(園)、お知らせください!

昨年配布しました『公益社団法人日本仏教保育協会社員名簿』に記載された園長、理事長のお名前や、認定こども園になられて園名が変更された園がありましたら、速やかにご連絡ください。

本部事務局にて整理し、郵送物など誤りのないようになりたいと思います。何卒ご協力くださいますようお願い致します。

尚、ご連絡方法はFAX、またはメールでお願いします。

FAX 03-3431-1519
 メールアドレス buppo@Cello.ocn.ne.jp

公益社団法人 日本仏教保育協会
 本部事務局



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
 保育環境の未来を提案する。
 それが、私たちの仕事です。

株式会社 ジャクエツ
 www.jakuetsu.co.jp

「何となく気になる話」

◆選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が去る6月17日の参院本会議で全会一致で可決され、来夏の参院選から適応されることは周知の通り。若者に、政治に関心を持ってもらい、将来の政策を見極める力を養う上でも「18歳以上」に引き下げたことは至当と思われる。が、しかし、およそ270万人の新しい「票田」の取り込みを狙う若者対策に行き過ぎが無ければ良いが・・・と気になってならない。

例えば、これまで学問の独立を掲げてきた大学では「政治お断り」の風潮は根強いものがある。各党とも「敢えてそこに踏み込まなければ若者の政治への関心は高まらない」と、その方法・対策作りに余念がないようだ。が・・・、どうもねえ。

◆原則禁止されている「子連れで投票所への入場が全国的に認められる」ことになりそうだ。総務省は、秋に想定される臨時国会に公選法改正案として提出する方針である。1997年の公選法改正では「選挙人が同伴する幼児や止むを得ない事情がある者については、投票所にいる管理者が認めれば入場できる」とした。これまでも、よほどの事情がない限り「拒否」されることはなかったのだが、近年「入れろ、入れない」のトラブルが頻発しているようで、改正案提出となったそう。法則で規制しなければならなくなった時勢に思いを致すと・・・どうもねえ。

◆今年の10月以降より、いよいよ「マイナンバー」の通知カードが市区町村から各世帯ごとにまとめて郵送されることになった。日本で住民登録をしている一人ひとりに割り振られる12桁の番号が組み込まれたカードである。自分の番号は、送られてきた【通知カード】で確認できるそうだ。将来的には、番号と身分証明書を提示するだけで様々な手続きが済ませられるというのだが、常に管理されているのかと思うと・・・どうもねえ。

編集後記

■今年の夏は記録的な暑さだったそうです。9月の声を聞いてやっと一息ついたようです。保育園では8月お盆には各園、少ない人数で合同でのんびりと過ごしたのではないのでしょうか。大きなクラスのお兄さんお姉さんも小さい子と共に過ごすことによって、また一段と成長を感じさせてくれますね。■8月お盆で檀家まわりをしていると仏壇に卒園生に差し上げている合掌人形が安置されているお宅が見受けられます。これはすずき出版を通して園で購入しているものです。この合掌人形は並べてみるとわかるのですが、不思議とその年その年で微妙に形が違います。合掌人形はまるで一人ひとりの園児のようでした。■8月28日に処遇改善等加算についての取り扱いの文章が国から出されました。近々、施設型給付の園には通知が行きますが、処遇改善に対する職員への賃金アップについてはしっかりと理解しおこないたいものです。

(福井)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011東京都港区芝公園4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月1回1日発行(1部315円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全4巻

○おたんじょう(12場面) ○四つの門(13場面) ○おさとり(16場面) ○ねはん(12場面)

セット定価 本体¥20,000(8%税込¥21,600) ※分売不可

脚本・絵/諸橋精光 画面38.2×26.5cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を4巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文
お問い合わせ
すずき出版